

## ルール説明

- ・階級  
(ジュニア) 20kg 以下、25kg 以下、30kg 以下は、グローブ面、8 オンスグローブ  
35kg 以下、40kg 以下、45kg 以下は、グローブ面、12 オンスグローブ  
50kg 以下、55kg 超級は、ヘッドギア、14 オンスグローブ  
**★A クラスは体重に関わらずヘッドギアを着用★**  
  
(一般男女) 45 k g 以下、50 k g 以下、55kg 以下、60kg 以下、65kg 以下  
70kg 以下、75kg 以下、75kg 超級  
一般男子はすべての階級において14 オンスグローブを使用  
一般女子はすべての階級において12 オンスグローブを使用  
**★A クラスは基本ヘッドギアなし B、C、D クラスはヘッドギア着用★**
- ・試合時間  
ジュニア A クラス 1分半 ×2 ラウンド B クラス 1分半 ×2 ラウンド  
C クラス 1分 ×2 ラウンド D クラス 1分 ×2 ラウンド  
  
一般 A クラス 2分 ×2 ラウンド B クラス 1分半 ×2 ラウンド  
C クラス 1分 ×2 ラウンド D クラス 1分 ×2 ラウンド  
※インターバルは30 秒間。 延長は無いものとする。
- ・服装  
キックトランクス、T シャツまたはタンクトップ、空手道着可  
\*ラッシュガードが最適
- ・防具  
グローブは、主催者の用意したもの  
ヘッドギアは、自分の用意したものでも良い (ノーズバー付きは使用不可)  
すね当て必須 (ジュニアは布製のみ、一般は布製、革製どちらでも使用可)  
ファールカップ必須 (一般男性は鉄製、一般女子も女子専用を着用)  
膝パッド必須・マウスピース必須・バンテージは自由  
**★肘パッドは着けても着けなくてもよい★**
- ・有功打  
パンチ：ストレート・フック・アッパー・バックハンドブロー  
キック：前蹴り・ローキック・ミドルキック・ハイキック・インロー  
バックキック・飛び蹴り・膝蹴り (顔面膝ナシ)
- ・反則  
頭突き・肘・金的・投げ技・関節技・サミング・喉への攻撃・噛み付き・倒れた相手に攻撃・  
ブレイク中の攻撃・ロープを掴んでの攻防・レフェリーに対する侮辱的あるいは攻撃的言動・  
パンチによる後頭部への攻撃・防具未装着による遅延行為・  
セコンドや関係者の応援、発言について悪質とレフェリーが判断した場合  
・レフェリーの判断により反則と認めた場合  
上記反則について故意でない場合1 回目は口頭注意、2 回目以降は警告になり  
次からはイエローカードまたは失格になる場合もある。
- ・首相撲  
A、B クラスは首相撲あり **★J r、一般ともに顔面膝無し★**  
キャッチ ※レフェリー判断により、首相撲に対応出来ていないとみなされた選手は  
1 度目は警告、2 度目はダウンを取ります。  
C、D クラスはワンキャッチワンアクションのみ  
※蹴り足を持つての2 回攻撃は反則対象。 蹴り足を持ったまま2 歩以上歩いたり  
蹴り足を持ったまま何もしなければブレイクとする。
- ・計量  
当日、試合会場にて計量します 計量時の服装は自由  
計量時、着衣重量分として500 グラムを計量数値からマイナスします  
**★オーバー 1kg 以内で減点1 ★オーバー 2kg 以内で減点2**  
**★2.1kg 以上オーバーで失格となる場合もあります。**

# T.B.NATION CUP! 判定優先順位について

優先順位上から

- ①ダウンの数
- ②与えたダメージの度合い
- ③クリーンヒットの数
- ④アグレッシブ
- ⑤リングゼネラルシップ  
(巧みな試合運びによって主導権を支配している)
- ⑥ディフェンス (ただし反撃の伴わない単なる防御は評価しない)

の順とする

- ・与えたダメージに関してはパンチ、キック同等とし攻撃を被弾した際に動きが止まったり、顎が跳ね上がるや腰が落ちるなどのアクションで判断する。
- ・アグレッシブに関しては攻撃を伴わない乱暴な突進は評価されない。

## 「防具不備のカウント 1 分について」

防具を全て装着してリングに上がり、すぐに試合を始められる状態までを 1 分以内に済ませる事とし、1 分経過したにもかかわらずリングの上には立っているが、防具の装着が未完成の場合は減点 1 とする。

## 「首相撲について」

くび相撲状態は約 3 秒続いたらブレイクとします。